

2016年1月13日

報道関係各位

中部学院大学
教育学部

理化学研究所の講師が「おもしろ科学教室」を開催 小学校教師を目指す学生と地元の小学生が体験

中部学院大学（学長 古田 善伯）子ども学部※1（学部長 宮本正一）では、国立研究開発法人理化学研究所から講師を招き、学生と各務原市立那加第二小学校の児童に、「おもしろ科学教室」を開催します。

今回の教室は、同学部3年の専門演習Ⅰ（山崎宣次ゼミ）で行われ、ゼミ生と小学生が科学の実験を体験します。講師は同研究所の関口芳弘氏（※2）です。

この科学教室を通じて、将来小学校教師を目指している大学生には、理科の楽しさを児童に感じてもらうために必要な実践的スキルを学ぶ機会に、児童には、最先端の科学などに触れることで、科学の楽しさを味わい、科学に興味や関心を持ってもらうのがねらいです。

記

- **日時** 2016（平成28）年1月22日（金）午後2時～同3時30分
- **場所** 中部学院大学 各務原キャンパス（各務原市那加甥田町30-1）2108教室
- **参加者** 学生9人、小学生89人、大学教員1人、小学校教員3人

※1 2015年度より、「子ども学部子ども学科」から「教育学部子ども教育学科」に名称変更

※2 講師プロフィールは別紙参照

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 教育学部 担当：山崎 宣次 講師

TEL:058-375-3600（各務原キャンパス）

【講師プロフィール】 関口 芳弘 氏

国立研究開発法人理化学研究所 創発物性科学研究推進室(兼)光量子
工学研究推進室

新営大規模研究・実験施設の建設と運用に従事。主な業績は、スーパーコンピュータ「京」、
X線自由電子レーザー施設「SACLA」、重粒子加速器施設「RIBR」など。電気設備学会賞、
空気調和衛生工学会賞など受賞多数。技術士（電気電子部門）

理化学研究所で最先端の研究・実験施設の建設と運用に携わってきました。スパコン「京」
やX線自由電子レーザー「SACLA」、113番元素発見で有名になった重粒子加速器「RIBF」
などのプロジェクトに参加し、施設の計画、設計、建設、運用を担当しました。この仕事
にのめりこみ、今では学会で発表したり、賞を受賞したりするほどになってしまいました。
好きこそものの上手なれを実践しています。20代の頃は小学校教師をしていました。今で
も心は理科教師。最先端の科学技術を子どもたちに伝える、出張授業やサイエンスカフェ
にも取り組んでいます。子ども向け、教師向けの理科の本の執筆もしています。二人の元
気な小学生の男の子の父親です。